

高校受験までの流れ

Q 子どもは中学3年生で、高校進学を希望しています。学校から「進路希望調査用紙」を書いて出すように言われましたが、何を書いたらいいかわかりません。また、これからのように受験校を決めていくのかわかりません。

A 中学3年生になると、3回ほど「進路希望調査」があります。どの高校を希望するか、用紙に書いて出しますが、どんな高校があるのかわからずに困ったという声を聞きます。わからない時は、学校の先生に聞いてください。また、当センターにも相談することができます。

担任の先生と生徒と保護者で行われる「三者面談」も、2回～3回行われます。先生と生徒だけの面談も行われます。12月ごろに行われる面談で、受験する学校を最終的に決めます。

私立高校を、「推薦受験」する場合、合格する確率はかなり高いです。「推薦」をもらって私立高校に進学するのもよい方法です。試験は1月です。令和8年度からは、私立高校の授業料と入学金がほぼ全額補助金が出ますが、子どもの在留資格によっては、そうならない場合もあるので、確認が必要です。

公立高校の試験は2月です。公立の前に私立高校を受験しておいて、合格校をひとつもっておくと安心です。この場合、合格した私立高校に入学金の一部(約20,000円)を支払っておく必要があります。公立高校に合格して、その私立高校に進学しない場合は、返金されません。

子どもの将来に関わる大切なことなので、事前に十分な情報を得ておくようにしてください。